

令和7年1月吉日

保護者様 地域の皆様

佐世保市立日宇小学校
校長 松尾 勝則

令和7年度 学校評価の報告

厳寒の候、保護者・地域の皆様におかけましては、ますます御健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

さて、「学校評価」(12月実施、対象：児童、保護者、教職員、学校関係者)の結果をお知らせいたします。御協力、誠にありがとうございました。

エグゼクティブサマリー：健康と粘り強さは向上、情緒と読書習慣に課題 (調査要約)

3.1

全体平均評定 (4段階評価・前年比3.1で横ばい)



向上 (Positive Trends)

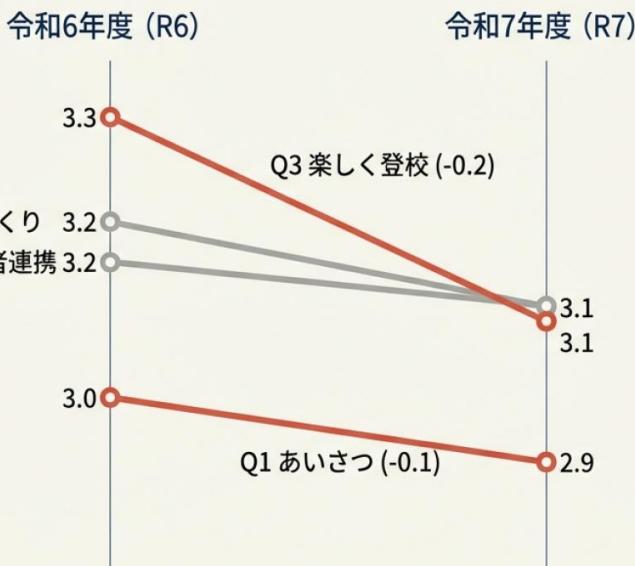
- Q9 食育: 3.0 (+0.1) - 感謝の気持ちで食事をしている
- Q10 粘り強さ: 3.0 (+0.1) - 目標を持って最後までやり遂げる
- Q12 教員理解: 3.3 (+0.1) - 子どもを理解し分かりやすい授業



課題 (Concerns)

- Q3 学校の楽しさ: 3.1 (-0.2) - 昨年度3.3から有意な低下
- Q1 あいさつ: 2.9 (-0.1) - 全体平均が3.0を割り込む
- Q6 読書習慣: 2.6 (横ばい) - 全項目中で最低値

昨年度比較：生活習慣・情緒面のスコアが低下傾向



分析のポイント

「健康・食育」や「粘り強さ」といった個人の内面的成長は見られる一方、「あいさつ」「登校の楽しさ」といった対人・社会性に関連する項目でのスコアダウンが顕著である。

認識のギャップ：保護者・地域・教職員で見える「景色」の違い

Gap Analysis Chart



学力・教養：読書習慣の定着が最大の課題

Q6 読書習慣



全項目中ワースト

Q5 自主学習



“「こちらから言わないと本を読んでくれません。子供の興味のある本を中心に買っているんですが...」”

課題分析：

職員による「読書指導」の評価 (Q6) は2.7と認識されているが、児童の実践 (2.4) には結びついていない。動画やゲーム等の娯楽との競合が激しく、学校単独の指導では限界がある。家庭と連携したメディアコントロールの視点が不可欠。

健康・体力：食育と粘り強さに改善の兆し

Q9 食事



3.0 ↑
+0.1

児童評価: 3.1

Q10 粘り強さ



3.0 ↑
+0.1

地域評価: 3.0

Q8 体力づくり



3.1

職員評価: 3.2

「好き嫌いなく食べる」「最後までやり遂げる」という基本的な心身の育成については、昨年度より改善が見られる。学校の指導方針が浸透しているポジティブな成果である。

学校運営：地域・保護者からの厚い信頼基盤

Trust Scores



職員のモチベーションと自信（Q11, Q16）が高いことは強みである。特に地域との連携（Q16）において、地域住民から3.6という高評価を得ていることは、日宇小学校の大きな資産である。

定性分析：「あいさつ」のパラドックス

スコアの低下(2.9)だけでなく、「自発性」の欠如が指摘されている。

「挨拶はこちらがすれば元気よく返してくれる。
『自分から』ではない。」

教職員の声から

「旗当番で立ってくれている大人が挨拶しても、
何も挨拶せず素通りする子がほとんど。」

保護者の声から

「朝の登校時、あいさつする子としない子、
はっきりしている。」

地域の声から

結論：

「あいさつができる（能力）」の問題ではなく、
「自分からする（態度）」への変容が求められてい
る。

保護者・地域の視点：登下校中の安全とマナー

安全面への懸念 (Safety)



「道が狭く車は真横を通る...下校時
は走らないように今一度声掛けを」



「道路上では広がって歩き...危険な
行為が見受けられます」



「自転車に乗って遊びに行く子がスマ
ホいじりながら運転していて危ない」

規律・マナー (Discipline)



「高学年になるほど挨拶が返って
こない」



「人の家の敷地内に平気で無断で
入ってくる」

学校外での振る舞い（交通マナー・公共心）に対する大人の視線は厳しく、
地域全体での見守りと指導が必要とされている。

家庭学習と読書の壁



保護者の声 (Parent Voices)

「動画の流し見等のせいであることはわかっている。原因はわかるのに対策が難しい」

「こちらから言わないと本を読んでくれません」

「我が子はあまり本を読まない。そのためか自分の思いを伝えることが得意ではない」

保護者も「読み解力不足」「表現力不足」のリスクを認識しているが、具体的な解決策（スマホ対策等）に苦慮している現状が浮き彫りになった。

令和8年度に向けた重点課題（3つの柱）

① 能動的コミュニケーション

Activization of Greetings



「受動」から「能動」への転換。あいさつは「返す」だけでなく「自分から」行う文化へ。地域保護者と連携したキャンペーンの必要性。

② 情緒的安全性

Emotional Safety



Q3 スコアの回復。「いじわる」「悪口」に対する指導強化と、児童が安心して過ごせる居場所づくり。

③ 読書戦略

Reading Strategy



家庭との協働。デジタルデトックス※を含めた家庭での読書時間の確保と、興味関心を引き出す読書指導。

※デジタルデトックス…スマートフォンやタブレットなどのデジタル機器と意識的に距離を取り、心身のストレスを軽減する試み

結論：信頼を基盤に、心の「質」を高める教育へ

今回、皆様からいただいた4段階での評価、御意見につきましては、今後の改善点として全職員で受け止め、本校児童の健やかな成長のために、より一層努力してまいります。

特に、学校運営と体力・健康面での成果は、日宇小学校の基盤として今後も維持していきます。

次年度に向けては、引き続き令和7年度の「気づき・考え・行動する」の合言葉のもと「自ら関わる力（あいさつ・読書）」と「互いを守る力（思いやり）」の育成に力を入れてまいります。今後とも御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

誰もが「毎日楽しく登校できる」日宇小学校を目指して。

令和7年度 日宇小学校 児童・保護者・職員・地域による学校評価 結果(12月実施)

評価項目	番号	内 容	令和6年度(昨年度)					令和7年度(今年度)					
			児童	保護者	職員	学校関係者	平均	児童	保護者	職員	学校関係者評価	平均評定	
子ども	①	元気な声で、自分からあいさつしている。	3.1	2.9	2.6	3.2	3.0	2.9	2.8	3.0	3.0	2.9	
	②	友だちを思いやり、やさしいことばをかけたり、行動したりしている。	3.0	3.2	2.9	3.1	3.1	3.1	3.0	3.0	3.1	3.0	
	③	友だちと仲よくし、毎日楽しく登校している。	3.2	3.4	3.3	3.3	3.3	3.3	3.2	3.1	2.9	3.1	
	④	きまりを守り、自分がするべきことを考え、行動している。	3.0	3.1	2.8	3.0	3.0	3.0	2.9	2.8	3.2	3.0	
	⑤	自らすんで学んでいる。	2.7	2.9	2.9	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	3.0	2.8	
	⑥	読書への関心をもち、すすんで本を読んでいる。	2.4	2.6	2.7	2.6	2.6	2.4	2.5	2.7	2.9	2.6	
	⑦	自分の思いや考えを自分のことばで表現している。	2.8	2.9	2.8	2.9	2.8	2.7	2.9	2.8	2.9	2.8	
	⑧	外遊びなど、すすんで体力づくりに取り組んでいる。	3.2	3.1	3.3	3.1	3.2	3.1	3.1	3.2	3.1	3.1	
	⑨	好ききらいなく、感謝の気持ちで食事をしている。	3.3	3.0	2.8	2.8	2.9	3.1	2.9	3.0	3.2	3.0	
	⑩	何事も、目標をもって最後までやりとげている。	3.2	2.9	2.9	2.8	2.9	3.1	2.9	2.8	3.0	3.0	
学校	⑪	学校の教育方針は共感でき、特色ある教育活動に取り組んでいる。			3.1	2.8	3.7	3.2		3.0	3.1	3.5	3.2
	⑫	学校は、子どもをよく理解し、授業がわかりやすい。			3.3	3.2	3.3	3.2		3.0	3.4	3.3	3.3
	⑬	学校は、安全(交通・生活・不審者対応等)に気を配り、掲示物等の環境が整っている。			3.3	3.2	3.2	3.2		3.2	3.4	3.4	3.3
	⑭	学校は、一人一人の子どもに寄り添い、親身になって指導している。			3.2	3.4	3.3	3.3		3.2	3.6	3.5	3.4
	⑮	学校は、保護者への連絡を密にするなど、誠意をもって関わろうとしている。			3.2	3.6	3.6	3.5		3.1	3.6	3.5	3.4
	⑯	学校は、地域と連携しながら、教育活動をすすめている。			3.2	3.1	3.7	3.3		3.1	3.3	3.6	3.3

※4段階評価